

# としょかんゆうびん 幼児向け 令和3年秋

相生市立図書館 0791-23-5151

## 10・11・12月の行事とカレンダー

### 10月

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
| *  | *  | *  | *  | *  | 1  | 2  |
| 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 31 | *  | *  | *  | *  | *  | *  |

### パネルシアター

10/17 (日)  
11:00~11:30  
「3つのお願い」ほか

### シネマサロン

10/30 (土)  
14:00~ (87分)  
「恐竜超伝説 劇場版  
ダーウィンが来た！」

### おはなし会

10/24 (日) 11:00~11:30  
えほん『しょうぼうじどうしゃじぶた』  
おはなし「絵姿女房」ほか



### 11月

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
| *  | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  |
| 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| 28 | 29 | 30 | *  | *  | *  | *  |

### リコーダー

11/14 (日)  
11:00~11:30  
「そらいろ♪コンサート」

### シネマサロン

11/27 (土)  
14:00~ (107分)  
「アルプスの少女ハイジ」

### おはなし会

11/28 (日) 11:00~11:30  
えほん『すてきな三にんぐみ』  
おはなし「ちいちゃい、ちいちゃい」ほか



### 12月

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
| *  | *  | *  | 1  | 2  | 3  | 4  |
| 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | *  |

### 人形劇

12/5 (日)  
11:00~11:30  
「ちいさな星の子と山ねこ」

### えいが会

12/25 (土)  
10:30~11:30  
「ドナルドダック」  
「クリスマスのおくりもの」  
「マッチウリの少女」

### おはなし会

12/26 (日) 11:00~11:30  
えほん『しんせつなともだち』  
おはなし「山の上の火」ほか



■…お休み

※体調の悪い人は行事に参加できません。

開館時間…午前9時~午後7時

※行事に参加するときは、検温・手指の消毒・マスクの着用をお願いします。

## 秋におすすめの本

### 『やまなしもぎ』 平野直・再話 太田大八・画//福音館書店//P

むかしあるところに、母親と三人の息子が暮らしていました。病気になった母親がやまなしを食べたいというので、最初にたろうが山に出かけて行きました。ところが、いつになっても帰ってきません。続いてじろうが出かけて行きますが…。



### 『さいしゅうれっしゃのあとで』

市川宣子・作 柿本幸造・絵//ひさかたチャイルド//P-I

山の奥の小さな駅では、駅長さんが一人で働いています。秋の終わりの夜、駅長さんは最終列車を見送り、駅長室でコーヒーを飲もうとしていました。すると、列車の近づいてくる音が聞こえてきます。外に出て列車を止めると運転席には小さな男の子が座っていました。



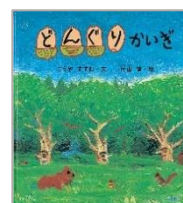
### 『もみじのてがみ』 きくちちき・作絵//小峰書店//P-キ

むこうの山から、もみじの手紙が届きました。それはもうすぐ冬がやってくるという知らせ。つぐみからもみじの手紙を受け取ったねずみは、自分たちの山でもみじをさがし始めます。りすやひよどりもいっしょになってさがしますが、もみじはなかなか見つかりません。



### 『どんぐりかいぎ』 こうやすすむ・文 片山健・絵//福音館書店//P-コ

北国の森には、たくさんのだんぐりの木がありました。春になると、動物たちが秋の間に地面に隠したどんぐりから芽が出て、こどもの木が生まれました。ところが、あるときからこどもの木が生まれなくなってしまい…。



### 『もりのかくれんぼう』 末吉暁子・作 林明子・絵//偕成社//P-ス

けいこは、おにいちゃんと公園から家への帰り道を歩いていました。すると突然、おにいちゃんが「うちまで競争しよう」と言ってかけだしました。おにいちゃんは近道を行くようです。けいこもあわててあとを追いかけて、生垣の下をくぐり抜けると、そこには見たこともない森が広がっていました。

### 『きょうはハロウィン』 平山暉彦・作//福音館書店//P-ヒ

ケンちゃんはひっこししてきたばかりで、まちにはまだ友だちがいません。ハロウィンの夜、おばけや魔法の格好をした子どもたちが家をたずねてきました。その中には、となりの家に住むピートがいて、ピートに誘われたケンちゃんも一行に加わります。最初はみんなのあとについていくだけのケンちゃんでしたが…。



### 『ソフィーとちいさなおともだち』

パット・ジトロー・ミラー・文 アン・ウィルスドルフ・絵 二宮由紀子・訳//光村教育図書//P-ミ  
ある秋の日、ソフィーは家族と市場に出かけ、かぼちゃを選ばせてもらいました。それは、

夕ごはんに使うためのものでした。ところが、ソフィーは家に帰るとそのカボチャに顔を書き、バーニスという名前を付けます。ソフィーとバーニスはいつもいっしょで、毎日たのしく遊んでいましたが、だんだんバーニスの様子が変わってきて…。  
続きに『ソフィー、がっこうへいく』があります。

### 『はやしでひろったよ』 ひさかたチャイルド//65

秋、林の中ではどんなものが見つかるでしょう。木の下には、たくさんの落ち葉があります。一枚一枚をよく見てみると、色も形も違います。別の木の下にはどんぐりが。どんぐりにもいろいろな大きさや形があるようです。ほかにもまつぼっくりやもみじのたねなど、いろいろなものが見つかります。



## ほかにもあるよ！おすすめの本

### 『かぜのひ』 サム・アッシャー・作 吉上恭太・訳//徳間書店//P-ア

ある朝目を覚ますと、風が強く吹いていました。男の子は、外に遊びに行こうとおじいちゃんを誘います。おじいちゃんがたこあげをするのにぴったりだと言ったので、二人はたこを探すことに。家中さがして、階段下の物置でようやくたこを見つけます。そのころ、風はどんどん強くなっていました。二人が公園でたこあげをしていると…。

### 『おとうふやさん』 飯野まき・作//福音館書店//P-イ

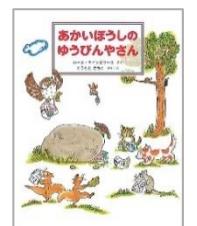
みっちゃんは、お母さんと商店街のお豆腐屋さんに買い物に行きました。店先には、水につけられた大豆の入った大きなおけが置いてありました。かたい豆からやわらかい豆腐ができていることを聞いたみっちゃんは驚き、豆腐づくりを見学させてもらうことになります。翌朝、まだ暗いうちから、お店の中では豆腐作りが始まっていました。



### 『あかいぼうしのゆうびんやさん』

ルース・エイズワース・作 こうもとさちこ・絵訳//福音館書店//P-エ

庭に住む動物や鳥たちは、手紙のやり取りをしたいと思っていました。そこでみんなの中から郵便屋さんを決めることにしました。こねこ、りす、こいぬの三びきが名乗り出ます。こまどりもやってみたいと思いましたが、三びきとも自信がありそうだったので、だまっていました。三びきは一日ずつ順番に郵便屋さんをやってみますが…。



### 『100 まんびきのねこ』 ワンダ・ガアグ・文絵 石井桃子・訳//福音館書店//P-ガ

あるところに、とても年を取ったおじいさんとおばあさんがいました。おばあさんが一匹きのねこを欲しがったので、おじいさんはねこを探しに出かけます。おじいさんはねこでいっぱい丘にたどり着き、その中からいちばんきれいなねこを選んで連れて帰ろうとします。ところが、どれもきれいなねこに見えてしまい…。



## 『やまこえのこえかわこえて』 こいでやすこ・作//福音館書店//P-C

満月の夜、きつねのきつこは油揚げを買うため、ふもとの町のお豆腐屋さんへ向かっていました。途中で、きつこのことを心配したお月さまやふくろうのろくすけ、いたちのちいとにいが加わります。無事に油揚げを買うことができたきつこたちでしたが、帰り道、暗がりからあやしい声が聞こえてきて…。



## 『がちょうのペチューニア』

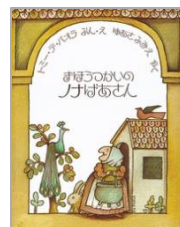
ロジャー・デュボワザン・作 松岡享子・訳//富山房//P-D

ある日、がちょうのペチューニアは、地面に一冊の本が落ちているのを見つけます。本を大切に持っていればかしこくなれると思ったペチューニアは、本を拾って家に持ち帰ります。そして、眠るときも泳ぐときも本を離しませんでした。かしこくなったと思いきよペチューニアは、みんなが困っていると自分から進んで助けにいくようになりますが…。

## 『まほうつかいのノナばあさん』

トミー・デ・パオラ・文 絵 ゆあさふみえ・訳//ほるぷ出版//P-P

イタリアのあるまちに、魔法使いのおばあさんが住んでいました。まちの人たちは困ったことが起こると、いつもおばあさんのところへ行きました。だんだんと年をとったおばあさんは、家のことを手伝ってくれる人が欲しくなり、アンソニーという若者がおばあさんの家にやってきます。ある日、アンソニーは、おばあさんが不思議なかまの前で歌を歌っているのを耳にします。



## 『まんげつのよるまでまちなさい』 マーガレット・ワイズ・ブラウン・作

ガス・ウィリアムズ・絵 松岡享子・訳//ペンギン社//P-B

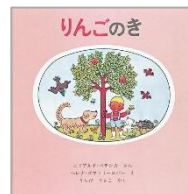
あらいぐまのぼうやは、夜を見たことはありませんでした。ある日、ぼうやがお母さんに「夜を見たい」と言うと、お母さんは「満月になるまで待ちなさい」と言いました。ぼうやは、お母さんに言われたとおりに家の中で待ちますが、外からはいろいろな音が聞こえてきて、気になって仕方ありません。

## 『りんごのき』

エドアルド・ペチシカ・文 ヘレナ・ズマトリーコバー・絵 うちだりさこ・訳//福音館書店//P-P

冬、雪でおおわれた庭にりんごの木がぽつんと立っていました。マルチンは庭に出て、りんごの木に近づきました。すると、幹にはうさぎにかじられてできたたくさんの傷がありました。おとうさんは、木を守るための金網を巻いてくれました。春になるとりんごの木は花を咲かせ、夏には実を二つつけました。そして秋、実はすっかり赤くなりました。

りんごの木の一年間を、小さな男の子の目から描いたかわいい小型絵本です。



## 『ぱくぱくはんぶん』 渡辺鉄太・文 南伸坊・絵//福音館書店//P-W

おばあさんが大きなケーキを焼きました。おばあさんはおじいさんに「半分のかしておいて」と言って出かけていきました。おじいさんはおばあさんの言ったとおりに半分食べて、もう半分を残しておきました。するとそこへ、いぬのジョンがやってきます。

